

みんなでひなんカップ【進行表】 例

時間	骨子（Story）	項目	ファシリテーター	注意事項	準備物
2分	参加者同士の緊張をときほぐす 挙手やインタビュー	アイスブレイク	カップ人形をひとつ取ってください。どんな人かな？ お名前書いてますね →お名前とお仕事は何ですか？ 家族も書いてあります。家族がいない人もいます→お一人暮らしの人はいますか？「ペットいますか」「お元氣ですか」 ペットは何をかっていますか？ 病気やけがの人もいるかもしれませんね→病気やけがの人はいますか 日本人ではない人もいますか？ このまちには、いろんな人が住んでいますね	スタッフ（確認） 一人 1 つのカップ人形	カップ人形
	班の全員で、マップ上に置くことにより、それぞれの人形のお隣さん、位置関係を見て確認することができ、より仲間意識が増す	導入	では、大きなマップの上に置いてみましょう 番号が書いてあるところがお家です。家がおけたら準備ができました。 このまちに大雨が降り続いたらどうなるかな？ということを考えていきましょう	家がわからない人はいないか？	カップ人形，マップ
3分	豪雨災害について正しい知識を学ばせる	豪雨災害のお話	大雨がふり続いたら，どんな災害が起きるかな		※各自作成のもの
～10分	導入～土砂災害をイメージする	大雨	いつもの姿→たちまち姿がかわる		（例；進行スライド
	増水した川	増水	川の様子 濁流		進行フリップ等）
	●浸水～	浸水	川の水がいっぱいになり，川からあふれて，周りが水びたしになります		
	普段の生活で目にする姿と豪雨でもたらされた自然の脅威を伝え，他人事ではない我が事として災害の認識をしてもらう （Before and Afterの写真等） ●土石流～	土石流	山の上で崩れた土と石，砂，土砂が雨水と一緒にあって，川のように流れてきます		
	●がけ崩れ～	がけ崩れ	山の急な斜面が，がけが突然くずれてきます		
	予想される災害	災害の種類	浸水，洪水，土石流，がけくずれ		
	EVAGタウンで災害を考える 住居を取り巻く背景，危険地域の再確認をする	危険箇所イメージ	問：このマップで危ないところはどこ？一斉にゆびさししてね		
	山の近く	土砂災害警戒区域 特別警戒区域 イエローゾーン・レッドゾーン	山の近くは，土石流とがけ崩れの危険がありました。黄色のところは，土砂災害警戒区域，「イエローゾーン」と言います。その中でも特に命の危険がある赤いところは，特別警戒区域「レッドゾーン」と言います。		
	川の近く	浸水想定区域	川の近くは，浸水の恐れがありました。青と緑のところは，浸水想定区域です。緑は 1 階まで，青は 2 階の屋根まで水が浸かってしまう恐れがあるところです		
	危険なところに住んでいることで恐怖心を与えない。災害時は命を守るための安全策を伝える	まとめ	問：あぶないところに住んでいる人はだれ？一斉にゆびさししてね ・レッドゾーンに住んでる人？ ・二階の屋根まで水が浸かる人		
	避難のタイミング 少しでも早く安全なところへの避難をする大切さを養う	安全なところへ 早くひなん	危ないところに住んでいる人は，安全な場所へ早くひなんしましょうね 地図で，安全な場所はわかりますか？→避難所が二つありますね		マップ
	避難所はどこにあるか，ふだんから確認しておくことが大事であると伝えて安心感を与える	避難所	大雨になって災害が起きそうなときは，起きる前に，少しでも早く安全な所へ避難しましょう。避難所へ行く時間がない時は家の中で崖と反対側のお部屋に行くなどして，身を守りましょう		マップ

みんなでひなんカップ【進行表】 例

時間	骨子（Story）	項目	ファシリテーター	注意事項	準備物
5分 ～ 10分	班でいろいろ意見を出し合い，自分なりの考えを言いながら他者の意見も聞き，カップ人形を持って手を動かして楽しみながら順番を決めていく。その都度それぞれの人形の問題点と解決策を論じることで，相手を思いやる気持ち，共助を自ずと学ぶ	ミッション1 だれが一番？	誰が一番？ 順番を考えましょう 今から言う質問をみんなで考えて，選んで，階段に乗せていきます。 最初は，ゆびさしからしましょうね ※以下は、一例（幾つか選択：全て聞くと疲れてくるので子供たちの様子を見ながら進行する）	グループ 取り残さないよう，配慮する	階段
	簡単なところから，距離の遠さを考える	① 道のり	避難所まで行くのに道のりが一番遠い人は？ →この人と思う人を一斉にゆびさしてね。「せーの！この人！」 みんな一緒ですか？では，意見が違ったらどうして違うのか，話し合って3人を選び，階段に乗せてみましょう ○各班の結果を聞いて共有する※※（以下共通） （正しい答えは無く違っていてもよい。選んだ理由や過程を聞き、称える）	答え：例 しずえ，ムハンマド，わにぶち	マップ・階段
	普段から備える，家族で話し合って決めておく	② 家族・ペット	家族やペットのことが気になって，ひなんできない人は？ ○普段から，家族で話し合いをして決めておきましょう※※	わにぶち，かない，なぎさ	マップ・階段
	要支援者以外にも取り残される人がいることを知る ●解決策もあわせて考える▶周りのお助けマンに気づく	③ コミュニケーション	避難の時に，言葉がわかりにくい人や声をかけにくい人は？	わにぶち，ムハンマド，プロイ	マップ・階段
			▶早く避難所に行くために，どの人に助けてもらえそう？※※ →終わったら人形を家に戻しましょう	しずえ，あずま，みちむら	マップ・階段
	避難したいが自力避難できない支援が必要な人を選び出すことにより，それぞれの抱えている問題を抽出し，要支援者がいることを認識する ●解決策▶再度ランキングしていくことで，お助けマンの存在に気づく	④ 身体	その人の体が気になってひなんできない人は？ →この人と思う人を一斉にゆびさしてね。「せーの！この人！」 みんな一緒ですか？では，意見が違ったらどうして違うのか，話し合って3人を選び，階段に乗せてみましょう※※	としえ，けんじ，プロイ，りんくん，なぎさ	マップ・階段
			▶早く避難所に行くために，どの人に助けてもらえそう？（雨の中で困っていたらどうする？）※※ →終わったら人形を家に戻しましょう	あずま，かない，ともぞう	マップ・階段
	ランキングがいろいろ置き換わることで，いろんな人がいることに気づき，助けが必要な人，助けられる人の存在を意識し，やがて大人になる時の未来像を描いてもらう	まとめ	みんなのまちにも，いろんな人が住んでいるかもしれませんね また，帰ったら，まわりのご近所さんを見まわしてみてね		マップ・階段
5分 ～ 10分	危険なエリアに住む人とそれぞれの事情を抱えた中で，さらに一番早く避難した方がいい人を議論し，優先順位の難しさから自分だったらどうするかを考えてもらうきっかけにする				
	ふりかえり 自分に戻って考えてもらう。 今できることと，大きくなってできること	ミッション2 できることないかな？	付箋に思ったことを書いてもらい、貼り出してみんなで共有する	よいアイデアや感想を紹介する	ふせん・ペン・模造紙
	どんな時も自分の命を大切にすることが大事。 子供のうちは他人を助けることは限られていてできないことの方が多いが，できそうなことは何だろう？子供だからできる事，率先して命を守る行動をとる，早く避難することを大人に知らせることはできる。と伝える		今できる事	書けない子のフォロー	ふせん1・ペン・模造紙
	大きくなったら，きっとたくさん助けることはできるよと子供達に安心感と希望を与え，やがて未来の防災リーダーを目指してくれる子供が一人でも多く育つことを期待する		大きくなったらできそうなことを書いてみよう		ふせん2・ペン・模造紙

15～
30分

この進行表は一例であり、適宜ご自由に変えてご利用ください！